

## 20 自由意見

県の男女共同参画の推進に関する施策や男女共同参画社会について意見を聞いたところ、49件の記述が寄せられた。これらが大別し、以下その意見の要旨をいくつか例示した。

なお、分類の都合上、文中から一部抜粋したり、複数に分けたりしている場合があるが、原文の内容の趣旨が損なわれないように留意している。

### 【男女共同参画社会を推進していくために、行政に期待する役割】

**問17 あなたは、男女共同参画社会を推進していくために、行政は今後どのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。**

- ・ 広く誰もが参加できるよう時間帯や方法を工夫したり、一方的に聞いて終了ではなく、意見交換し、尊重しあい、継続できるものにする。夫婦、家庭内の話し合いを上手くするためのコミュニケーション向上のための支援
- ・ 小さな民間企業などにも徹底し罰則や責任、罰金を撤収する。
- ・ 3人出産したのに保育所が満員で働けない母を知っている。国が出産を応援するなら安心して子供を預ける場所を充実させるのが必須。
- ・ 女性だという理由で過度な厚遇をしない。男性から実力ではなく女性積極登用等の理由でポジションを得たと思われると逆にやりづらい。女性を必ず何人役職につかせなくてはいけない等のルールを作るような事はしない方が良い。
- ・ そもそも、男性女性という話がいまだに出てくること自体が古い気がする。差別という話ではなく根本的な社会のあり方の問題だと思う。

**問19 あなたは、「ウィルあいち」では、今後どのようなことに力を入れる必要があると思いますか**

- ・ 男女共同参画に対する意見交換や理解を深めるワークショップの開催と、その情報共有や発表の場、ネットワークの構築。女性団体は男性も入れて、普通の団体にしていくための支援。
- ・ 全ての支援、講座、研修等女性対象と限定しないで男女全ての人を対象に力を入れたら良いと思う。
- ・ 男性の抱える問題に関する相談事業の充実

**最後に、愛知県の男女共同参画の推進に関する施策や男女共同参画社会について、ご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。**

- ・ 「育児」について、負担感ばかり前面に出され、子供の成長を間近で感じられる喜びや、一緒に育つ楽しみなど、その時その時でしか味わえない貴重な体験ができることを無視されているように思います。「夫は育児する時間が少なくてかわいそう！」くらいに思います。男女平等だからと言って、何でも50%ずつになればいいなんて思って、個性や性差による能力の差や特性を無視されている講座を受けたことがあり、「男女共同参画」というものに不安があります。女性を尊重するのは大切ですが、男性をバカにするのは違うと思います。心身の健康づくりに関する事業は不要だと思います。
- ・ 私は働いていますが、楽しくて働いているわけではありません。楽しく生きていける社会が実現可能なら、働きたい人だけ働いて暮らせる日本が理想です。税金や社会サービス、国際社会での日本の立ち位置のための生産性や、出生率問題、教育、法律、クリアしていく壁が多いと

思います。そして、何が目的？最終ゴールの姿が見えにくいです。女性が活躍しないといけない理由や、男性や年配者の理解向上が先だとも思います。家庭での理解や教育は、男性側が率先してやる必要があると思いますが、家庭の階級闘争や、プライド問題が邪魔で、家庭不和に労力をさいてまで、働く力が残らない女性も多いと思います。夢のような言葉だけを並べて、誘導されて、ふたを開けてみたら全部押しつけられて、誰も協力してくれない。行政も他人事で女性の人生は詰む。現実はこの感じ。若い子たちが人並みに生きていける社会の構築を願っています。

- ・ 男性の子育てなどに対する意識改革も大事ですが、現在、働いている女性に対する支援や家事代行などのサービスが少額で受けられる等…家事、育児が少しでも負担が減るとなると良いと思います。晩婚化が進み、子育ての環境がみんな違うため大変さは計り知れません。特に共働きで、祖父母も協力してもらえない、ワンオペ育児を強いられている家庭を優先的に支援していくのがよいと思います。ですが、女性が社会で活躍する一方で子供と接する時間がないと思うので、現代の子が大人になったときにどうなっていくのかな…という不安が残ります。女性が仕事を持って、時短でも快く働ける会社や環境に近い将来増えることを祈っています。
- ・ 女性が活躍していく事は、とてもステキだと思います。でも、今の男と女の役割が逆転したら…女が多い職場は人間関係が悪いのでそんな社会はこわいなと思ったり。本当に色々な意味で平等になると一番良いなと感じます。
- ・ 私は現在企業の役員兼管理職として仕事をしています。今まで私の部下となった男女比率は男2：女8くらいで、特に子供の面倒を見なくてもよくなった人が活躍しています。世の中優秀な女性が多いので当社では男性よりも女性のほうが昇進・昇給しています。すべての職種仕事でというより、男女関係なく、その人に適した仕事に就けると、力のある人は男女関係なく活躍すると思います。男性だからとか女性だからとか気にするような世の中って嫌ですね。
- ・ 子育てや介護の理由で働きたいのに働けない、退職している女性をたくさん見ている。働きたい気持ちがある方にはその気持ちを十分生かせることのできる社会であってほしい。
- ・ 男女共同参画推進にあたって、子供達に負担がかかる現状に見えます。まずは就業女性の出産・育児をサポートするシステム確立。子供達の成長に応じたケア、親不在時の居場所等確保等、子供が犠牲にならないようしっかりとした受け皿があってから進めて欲しいです。その枠組み作りは実際に就業しながら育児をされた方の参画が必須だと思います。

その他、各設問において、「その他（具体的に）」とした自由記述欄に寄せられた意見について、以下に大別していくつか例示した。

#### 【家庭生活について】

##### 問3「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考え方について

(賛成理由)

- ・ 男女は差別ではなくその性質において区別するべきだと思うから。
- ・ これまでの教育の在り方では、男子の方がより高い教育を受ける傾向があり、結果として高いスキルを持つことが多いので、社会へより高い貢献が得られる可能性があるため。
- ・ 性差によって、得意、不得意があり、特に家庭においては、女性の方が優れている場合が多いと思う。
- ・ 性差があるのは当然で、区別が必要。特に妊娠・育児期間中、女性は守られつつ専念できる環

境が必要。女性の社会進出が家族の在り方を変えたが、日本にはそぐわないと思う。社会復帰の際には男女差ではなく能力の優劣で見極めてほしい。

- ・ 子供の成長に親が身近にいることのメリットが大きい。その役割は両親のどちらでも良いが、社会的も時代的にも夫が働いたほうが結果的に安定的な収入を得られる。

(反対理由)

- ・ それぞれの家庭や個人の状況に応じたやり方があるべきだと思う。
- ・ 男女問わず、個人の意志や能力に応じて社会や家庭で活躍できることが望ましい。
- ・ 現在の社会で、人材不足をカバーし、社会機能を維持するためには必要不可欠だから。
- ・ 生活共同体として、一個人の個性や特性を生かした上で、役割分担や協力態勢を敷く事が最も重要であり、見た目や体裁、男女の違いよりも、互いに尊敬し合える関係と信頼に基づき、決定するのが望ましいと考えるから。
- ・ 世の中の流れに反すると思うから。

### 【女性の活躍について】

**問4 あなたが、女性が増える方がよいと思う職業や役職は何ですか。**

- ・ 男女ではなく能力がある人間がその職につけばよい。
- ・ 個別に分けるものでもない、社会全体での底上げ必要。
- ・ 基本的にどのような職業という考えではなく、その一人ひとりの知識・能力が発揮される職業や職位が良いと思う。他方では、強みとして一般的な女性の持つ優しさや温かみを生かせるのは良いと考える。
- ・ 警察官や自衛官。災害のときに、女性がいると安心できます。
- ・ 男女問わず適切な人がやるべき。一律女性が増えればよいというものではない。

**問5 女性が職業を持つことについて、あなたの考え方は次のどれに近いですか。**

- ・ 個人の自由なので、仕事していても、やめてもいいと思う。夫婦間で話しあって決めるのがいいと思う。
- ・ 女性だからということ関係なく、職業を持ちたければ持てばよいと思う。
- ・ 同じ女性でも人それぞれに違う選択があるので、～がよいとは言えない。
- ・ 子供ができるまで働き、子供ができたら辞め、大きくなったら再び働く。
- ・ 発達障害、身体障害、子どもの特性によって考え方は変わるかもしれないが、子育てに理解がある・休みやすい職場であれば、ずっと職業を持ち続ける方がよい。
- ・ 金銭に余裕があるならば職業を持たなくてもよい

**問6 男性が職業を持つことについて、あなたの考え方は次のどれに近いですか。**

- ・ 個人、夫婦、家族で話し合っ決めてよい。
- ・ 男女問わず働き方は本人の意志が尊重されるべき。
- ・ 女性は家事、育児と無中無休 24 時間労働なので、男性はやはり外への仕事のほうが良い。
- ・ 男女において考えに差異は全くありません。

**問7 あなたは、管理職以上に昇進することについて、どのようなイメージを持っていますか。**

- ・ 自分の考えを、仕事に実現できる事が多くなる。

- ・ 賃金と身心の負担のバランスが取れるのか不安
- ・ 上からの圧+残業まつり
- ・ 仕事内容がつまらなくなる（特殊性がなくなる）
- ・ 時間外手当が無くなるため相対的に時間外労働価値が下がる。
- ・ クレーム対応や部下間のトラブル対応等のストレスの多い仕事が増える。

**問9 ① あなたは、女性が活躍するために、どの情報が特に必要になると感じますか。**

- ・ 活躍したいと思う人が誰でもすぐ入手できるものならどれでも良い。
- ・ 育児後、大学院等へ戻って再教育を受け職場へ戻る方法に関する情報
- ・ 仕事を進める上での女性特有の悩みを相談できる場所の情報
- ・ 市区町村が提供している子育て支援の情報
- ・ 発達障害や不登校になった場合に対応してくれるところ。
- ・ 給付金や減税などの権利が得られる事を一目で分かるように伝える事。

**問9 ② あなたが選んだ情報を入手する際、どの媒体を特に利用したいと思いますか。**

- ・ 市役所など身近な機関からの情報
- ・ 仕事仲間
- ・ 知りあいに聞く。
- ・ 経験している方に質問する。
- ・ 同じ立場にいるママや先輩ママさんとの交流

**問10 働く場において女性が更に活躍するためには、次のA（愛知県）・B（企業）において、どのような取組が必要だと思いませんか。**

**【A. 愛知県】**

- ・ 女性を特別扱いするのではなく、本来だれもが活躍できる働く場を目指すべきであり、現在目標までに達していない部分を企業ごとに教育、指導する。
- ・ 職場に子供の医療施設・シッター等を利用し、ちょっとした体調不良時にも出勤できる環境をととのえる。
- ・ 社会全体の意識改革を促進するような取り組み。
- ・ 時間の融通が利きやすい職業・職場の紹介やそういった職場を探しやすい手段の紹介。
- ・ 行政が大きな予算をかけて行う必要性を感じない。

**【B. 企業】**

- ・ 祝・祭日は子供と同じように会社も休日で出勤しない（全社員）
- ・ 時短勤務制度で生じる他の社員の負担を減らす。または、待遇の改善。
- ・ 育休明け一定期間は国が本人に補助を出し、企業の人件費負担を軽くすべき。
- ・ 企業は、これらの設問にあるほど性には捕らわれず、個人の知識と能力が重要。学ぶ・鍛錬するための機会と時間が必要。移動時間分の時間が捻出できる在宅勤務や自分の時間を増やせる短時間勤務やフレックスは有用であると思う。
- ・ 託児所を企業でもつ。
- ・ 男性の家事育参加への理解・意識改革や男性の育児休業の取得促進

## 【仕事と生活の調和について】

**問 11 あなたは、生活の中で、仕事、家庭生活、地域・個人の生活で何を優先しますか。(希望)**

- ・ 仕事、個人及び家庭生活を同レベルに両立させたい。
- ・ 仕事と家庭と個人の生活を優先したい。
- ・ 現在仕事をしていないので、個人を優先したい。
- ・ 個人と家族

**問 11 あなたは、生活の中で、仕事、家庭生活、地域・個人の生活で何を優先しますか。(現実)**

- ・ 何を優先するかは、その時期により変わらと思う。
- ・ 仕事と家庭と個人の生活を優先するよう心がけている。
- ・ 通院、治療で仕事を思うようにできていないように感じている。
- ・ 個人を優先している。
- ・ 無職なので現実には家庭生活を優先。

**問 12 (1) あなたは、仕事以外に地域で何か活動に参加した経験はありますか。**

- ・ 学会活動・研究
- ・ 認知症カフェ
- ・ 障害児・者の親の会
- ・ 子供体操教室の指導者
- ・ 少年野球チームのコーチ
- ・ 学校運営協議会 地域学校協働本部
- ・ 消防団
- ・ P T A、自治会、子育てサークル、ママさん合唱部

**(2) 今後又は引き続き、あなたが参加したい活動はありますか。**

- ・ 防災の会
- ・ 地域猫活動
- ・ 自由に自分のやりたい事をやりたい。
- ・ 今は「仕事」と「家庭生活」の両立で精一杯です。
- ・ 家庭優先で今は考えたいので、現在はあまり考えていないが、後々考える事はあるかもしれない。
- ・ 参加するには時間が足りない。

**問 13 あなたは、今後、男性が家事、子育て、介護、地域活動に積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか**

- ・ 小・中・高校等で男女平等、家事育児について具体的に実践するような機会を作り意識を変えてゆくこと。
- ・ 男性が家事、子育て、介護に参加していくことと、地域活動に参加することは全く別の問題だと思います。
- ・ 職場における上司の意識改革を行うこと。

- ・ 男性も女性も、休暇・時短ともにとれる職場環境、正規雇用を増やして仕事を楽にすることが大切。
- ・ 家事や育児、スケジュール管理の基本的な技術の習得
- ・ 家事育児介護ができる仕事環境
- ・ 収入

### 【地域活動について】

**問 14 あなたは、自治会長やPTA会長など、女性が地域活動のリーダーになるためには、どのようなことが必要だと思いますか。**

- ・ 自治会の意識改革と組織改革
- ・ 「女性をリーダーにする」ことが目的ではなく、適正があれば男女問わず各ポジションにつける評価制度の拡充が必要と思う。
- ・ 現状働きながら子育てをしている女性に自治会長、PTA 会長を引き受ける生活の余裕はないから、これが改善されないと増えないと思う。
- ・ 一部業務の有償外注化
- ・ リーダーとしての技量、活動推進への意欲を人としての評価で判断すべき。業務としてこなせる事ができれば、男性・女性は関係ない。選ぶ側の先入観をなくすこと。

### 【性的少数者やドメスティック・バイオレンスなどについて】

**問 15 あなたは、DVに関する次のことについて知っていますか。相談できる窓口について、どのようなところを知っていますか。**

- ・ 相談する所があるのは知っているが具体的には分からない。(名称、連絡先 etc)
- ・ 大学の学生窓口
- ・ なんとなくあることは知っているが、細かい事は知らなかった。
- ・ 弁護士

**問 16 あなたは、DV、セクシュアル・ハラスメント、性犯罪、売買春などを防止するために何が必要だと思いますか。**

- ・ 対症療法的取組をしつつ、根本的解決に着手しなければならないので、まず原因の研究をし、その基準に基づいた人格・人間教育・学校教育・職場研修を徹底する。
- ・ 学校教育に取り入れる。心理学等、人の進化の過程でのヒエラルキー形成が、いじめや DV 等に関係があることを学ぶ。
- ・ 家庭教育、学校教育が大切。小学校から無理のない程度から進めるとよいのでは。
- ・ 職場での徹底教育
- ・ 犯罪者の居住地、氏名等の情報開示